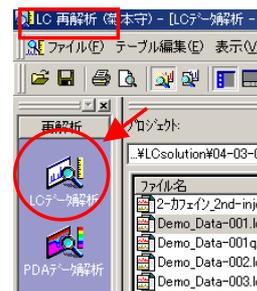


再解析画面で手動波形処理

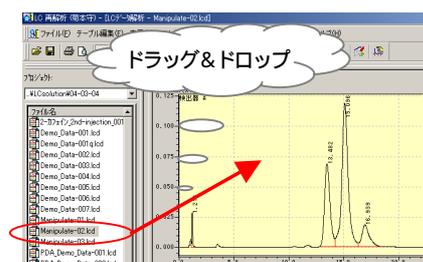
基本的に、手動波形処理は[LC 再解析]の[LC データ解析]または[PDA データ解析]画面でおこないます。([LC 検量線]画面でも手動波形処理ができます。)

以下は、[LC データ解析]画面で手動波形処理をおこなうための準備です。以下の手順で準備を終えた後、[手動波形処理ツールバー]から任意のボタンをクリックして、手動波形処理を開始してください。

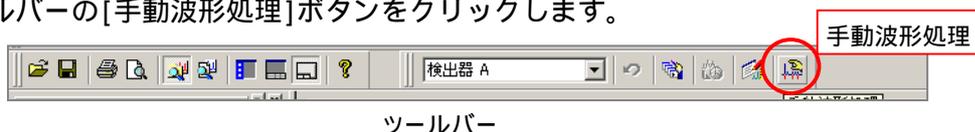
- (1) [LC 再解析]において、「LC データ解析」(または[PDA データ解析])アイコンをクリックします。



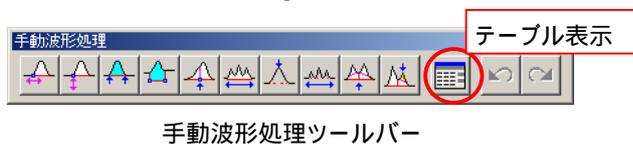
- (2) [LC データ解析]画面が開きますので、目的のクロマトグラムを、[クロマトグラムビュー]へドラッグ&ドロップします。すると、クロマトグラムが表示されます。



- (3) ツールバーの[手動波形処理]ボタンをクリックします。



- (4) [手動波形処理ツールバー]があらわれます。



- (5) 手動波形処理で実行した内容を確認したい場合は、[テーブル表示]ボタンをクリックします。

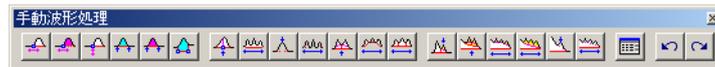
	時間(min)	処理命令	数値
1	<input checked="" type="checkbox"/>	0.000	0.000

手動波形処理テーブル

(6) 標準で用意されている手動波形処理ボタンだけでは意図したとおりの波形処理ができないことがあります。このような場合は、[手動波形処理ツールバー]を拡張ツールバー表示にして、拡張機能を使います。[手動波形処理ツールバー]上で右クリックし、[拡張ツールバー]を選びます。ツールバーが長くなり、多くの拡張機能が表示されます。



右クリックメニュー



拡張ツールバー